J20311
改訂版V3/2022年7月

TUF GAMING

TUF GAMING | LAPTOP

More info:

COPYRIGHTについて

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害 (死亡したケースを含む) と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

(1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
(2) ユーザーの個人情報やデータの損失
(3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または 貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトをご用意しています。英語で表示される場合は「Japan/日本語」を選択してください。https://www.asus.com/jp/support/

また、モデルにより、MyASUSアプリを搭載しており、お使いの PC を使用する際に必要となる様々な機能へのアクセスを簡単に行う事ができます。

利用可能な機能は、ASUSの提供する機能への簡単アクセス、お使いのPCの状態の確認やトラブルシューティングなどのシステム診断、各種アプリや機能などの更新、パフォーマンスの最適化などとなり、ASUS PCをより快適にご利用頂けます。

詳細はhttps://www.asus.com/jp/support/FAQ/1038301/をご確認ください。

※URLは予告なく変更される場合があります。その際は、ASUS 公式のサポートサイトから機能詳細をご確認ください。

もくじ

Chapter 3: Windowsの使用

Chapter 4: Power-On Self-Test (POST)

Chapter 5: FAQとヒント

Chapter 6: 付録

本マニュアルについて

このマニュアルには本機のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

本機のハードウェアとコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2: 本機を使用する

本機の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3: Windowsを使用する

本機でのWindowsの使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4: Power-On Self-Test (POST)

POSTを使用した本機の設定変更方法についての説明が記載されています。

Chapter 5: FAQとヒント

よくある質問とその回答・ヒントが記載されています。

Chapter 6: 付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

注意: 本書で使用されている名称は正式なものではない可能性があります。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない事項です。

注意: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告: 作業を行う際、人体への危険を避けるため、または本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない事項です。

アイコン

タスクを完了するために使用するデバイスをアイコンで表しています。

 = タッチパッドを使用します。

 = キーボードを使用します。

表記

太字 = 選択するメニューや項目を表示します。

< > = 操作のために押す、キーボード上のキーです。

安全上の注意

使用上の注意



本機は5～35℃の周辺温度でご使用ください。



入力定格は本機の底部に記載があります。ACアダプターが対応していることを確認してください。



使用中、または充電中に本機が高温になることがあります。火傷などの防止のため、本機を膝の上や体に近づけた状態での使用はお控えください。本機の稼働中は故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は塞がないでください。



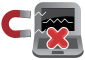
破損した電源コード、アクセサリーまたはその他の周辺機器をご使用にならないでください。



電源がオンのまま本機を持ち運ばないでください。またキャリーバッグに入れたり、カバーをしたりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。



本機を平らでない、不安定な場所に置かないでください。



本機をX線装置（ベルトコンベアー）に通すことは問題ありませんが、磁気センサーや磁気ワンドはお避けください。



多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。

お手入れに関して



本機のお手入れの際は、電源を切りACアダプターとバッテリーパックが取り外し可能なモデルであればバッテリーパックも取り外してください。清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない

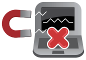
洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。短絡または腐食を防止するため、シャーシまたはキーボードの隙間に液体が入らないようにしてください。



アルコール、シンナー、ベンジンなどの強力な溶剤または他の化学薬品を使用したり、本機の近くに置いたりしないでください。



本機の上に物を置かないでください。



本機に強い磁気を近づけないでください。



液体・雨・湿気を避けてください。



本機をホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。



本機をガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。



ディスプレイパネルに対する電磁波干渉を防止するため、本機の近くに電源の入った電気デバイスを置かないでください。



本機を、(変換可能な仮想通貨を得るために膨大な電力と時間を消費する) 仮想通貨マイニングおよび/または関連する作業に使用しないでください。

廃棄・リサイクルについて



本機やバッテリー (該当する場合) を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



バッテリーを一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

バッテリーの安全に関する情報

バッテリーの保護

- 高電圧で頻繁に充電すると、バッテリーの劣化は早まります。また、モデルによってはバッテリー寿命を延ばすため、バッテリーを満充電後、バッテリー残量が約90%以上を維持できている場合、こちらを下回るまでバッテリー保護の機能が働き、その間は再充電を停止する場合があります。

> **注意：**バッテリー保護の機能が働く場合、再充電を停止する目安は通常、90～99%の間ですが、こちらの数値はモデルによって異なる場合があります。

- 高温な周辺環境でバッテリーを充電した場合、バッテリーの劣化や寿命を早める可能性があります。バッテリーが高温、オーバーバーヒート状態になると、充電に制限がかかり、停止する場合があります。こちらはバッテリー保護の機能によるものです。
- PC をシャットダウンして AC アダプターを取り外しても、わずかですが電力は消費されます。よって、次回起動時に以前使用していた際よりもバッテリー残量が減っている場合があります。

バッテリーのメンテナンス

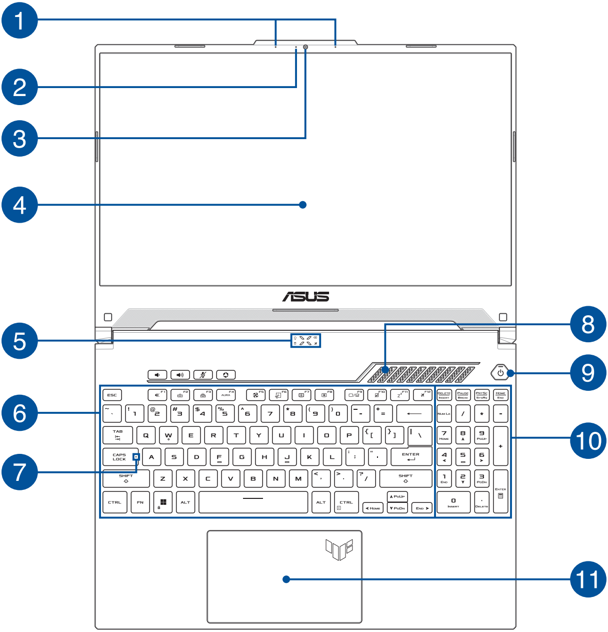
- 本機を長期間使用しない場合は、バッテリーの充電はバッテリー容量の50%程度にし、端末の電源をオフにしてACアダプターとの接続もしないままにしてください。長期保管による過放電の影響を避けるため3か月に1回、バッテリー容量の50%程度まで再充電することをお勧めします。
- バッテリーの劣化を防ぐ為、高電圧での頻繁な充電はしないでください。常時、電源からACアダプター経由で本機へ給電している場合は、バッテリーへの負担を減らすため、少なくとも2週間に一度はバッテリー容量の50%程度まで放電することをお勧めします。特定モデルでは、ASUS Battery Health Charging 機能が搭載されているので、そちらを使用して、バッテリーの充電容量を設定頂く事も有効です。
- バッテリーに最適な保管環境は周囲温度が10℃～35℃の間で、50%程度のバッテリー残量が維持された状態です。特定モデルでは、ASUS Battery Health Charging 機能が搭載されているので、そちらを使用して、バッテリーの充電容量を設定頂く事も有効です。
- バッテリー性能に影響が出る可能性がありますので、湿度が高い環境下では保管しないでください。また低温にさらされるとバッテリー内部の化学成分が劣化することがあります。一方、温度が非常に高い環境下では破裂する危険性があります。
- 本機およびバッテリーそのものをラジエーター、暖炉、ヒーターなどの熱源の近くに置かないでください。温度が60℃を超えるとバッテリーが破裂したり、薬液が漏れたり、火災の原因となることがあります。

Chapter 1:
ハードウェアのセットアップ

製品の概要

上部

注意: キーボードのレイアウトはお買い上げの国や地域により異なります。モデルによってノートPCの外観は異なります。



1. **アレイマイク**
   エコー除去、ノイズサプレッション、指向性録音機能を備えたアレイマイクです。音声認識性能が高くクリアな音声での録音が可能です。

2. **カメラインジケーター**
   内蔵型カメラの使用時に点灯します。

3. **カメラ**
   内蔵カメラにより、画像の撮影と動画の録画ができます。

4. **ディスプレイパネル**
   本製品のディスプレイパネルは画像や動画、その他マルチメディアファイルの参照に卓越した視認性を発揮します。

5 **ステータスインジケーター**

本機のハードウェアの状態を表示します。

電源インジケーター

点灯時は本機の電源はオン、点滅時は本機はスリープモードに入っています。

バッテリーインジケーター

色でバッテリーの充電状況を表示します。表示内容は次のとおりです。

色	状態
ホワイト	ACアダプターが本機に接続された状態で、バッテリー電力レベルは100%です。
オレンジ	ACアダプターが本機に接続され充電を行なっている状態で、バッテリー電力レベルは0%から99%の間です。
オレンジ点滅	ACアダプターが本機に接続されていない状態で、バッテリーの充電レベルは10%未満です。
点灯しない	ACアダプターが本機に接続されていない状態で、バッテリーの充電レベルは10%から100%です。

ドライブアクティビティインジケーター

内蔵の記憶装置にアクセスしている際に点灯します。

機内モードインジケーター

機内モードが有効になっているとき、このインジケーターが点灯します。

注意: 機内モード有効時は、すべてのワイヤレス接続が無効になります。

6 キーボード

クウォーティー (QWERTY) 配列のキーボードには十分なストロークを持たせてあり、パームレストが付いているため快適な操作が可能です。また、Functionキー <Fn>でのコマンドの実行も可能です。

注意: キーボードのレイアウトはお買い上げの地域により異なります。

7 Caps Lockインジケーター

点灯時はCaps Lockが有効になっています。有効になっているときは、入力される文字は大文字 (例、ABC) になります。無効になっているときは、入力される文字は小文字 (例、abc) になります。

8 通気孔

通気孔により、本機に冷たい空気を取り入れることができます。

警告: 故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は絶対に塞がないでください。

9 **電源ボタン**

このボタンを押すと電源がオンになります。設定により本機をスリープ/シャットダウンなどに移行することもできます。

システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを4秒以上 (特定モデルでは10秒以上) 押し、強制終了することができます。

10 **テンキー**

テンキーの入力方法は2つあり、数字キーと方向キーのいずれかで切り替えることが可能です。

注意: 詳細は、「テンキーを使用する」をご参照ください。

11 **タッチパッド**

指先を使用して、カーソルを移動したり画面に表示された項目を選択することができます。タッチパッドはマウスと同等の機能を提供するポインティングデバイスです。

注意: 詳細は「タッチパッドの操作」をご参照ください。

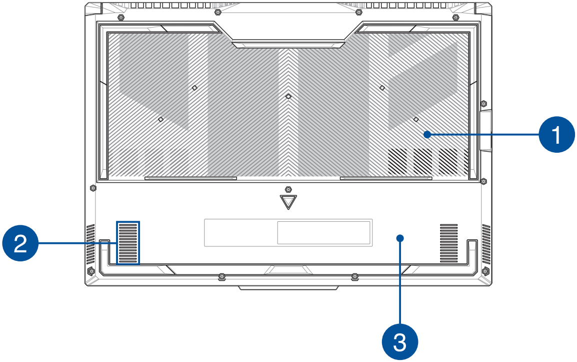
底面

注意: モデルによって底面の外観は異なります。

警告: 使用中、または充電中に本機が高温になることがあります。火傷などの防止のため、本機を膝の上や体に近づけた状態での使用はお控えください。本機の稼働中は故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は塞がないでください。

重要:

- バッテリー駆動時間はコンピューターの使用方法、仕様により異なります。バッテリーパックは分解できません。
- ASUS以外またはASUS非公認の第三者が製品に修理・変更・改ざんを加えた場合、これらに起因する不具合や故障に対し、保証サービスが受けられなくなる場合があります。詳細は保証書をご確認ください。



1 **通気孔**

通気孔により、本機に冷たい空気を取り入れ、熱を逃がすことができます。

> **警告:** 故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は絶対に塞がないでください。

2 **オーディオスピーカー**

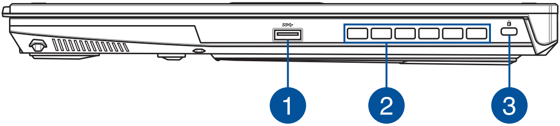
本機搭載のスピーカーにより、Windowsのプログラムイベントなどのサウンドをご確認いただけます。

3 **収納部カバー**

このカバーは、リムーバブルSSD (M.2 2280 スロット)、メモリーモジュール収納部を保護するためのカバーです。

> **注意:** M.2 2280スロットはM.2 SATA SSDをサポートしていません。内蔵記憶装置およびメモリーの換装・増設に起因するトラブルはASUSのサポート対象外です。ご了承ください。

右側



1 **USB 3.2 Gen1ポート**

このUSB 3.2 Gen1ポートは、最大5 Gbpsのデータ転送速度を提供し、USB 2.0に下位互換性があります。

2 **通気孔 (特定モデルのみ)**

通気孔により、本機から熱を逃がすことができます。

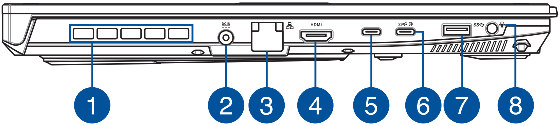
警告: 通気孔からは高温の空気が排気されます。故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は絶対に塞がないでください。

---

3 **Kensington® セキュリティスロット**

Kensington®互換ノートPCセキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。

左側



1 **通気孔**

通気孔により、本機から熱を逃がすことができます。

警告: 通気孔からは高温の空気が排気されます。故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は絶対に塞がないでください。

2 **電源入力ポート**

付属のACアダプターを接続し、本機に電力を供給しバッテリーパックを充電します。

警告: ACアダプターは使用中高温になることがあります。使用中は、物などで覆ったり人体に接触させたりしないでください。

重要: 本製品付属のACアダプターおよび/または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターおよび/または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障・事故の原因となります。※お使いのモデルにより付属は異なる場合があります。

3

LANポート

このポートにネットワークケーブルを接続し、ローカルエリアネットワーク（LAN）に接続します。

4

HDMI ポート

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）はTMDS（Transition Minimized Differential Signaling）をベースとする、非圧縮型デジタルオーディオ/ビデオインターフェースです。セットトップボックスやDVDプレーヤー、A/Vレシーバーなどのあらゆるオーディオ/ビデオソース、オーディオ、デジタルテレビ（DTV）、ビデオモニターに対応。標準型/エンハンス/HDビデオをサポートし、これらマルチチャンネルデジタルオーディオを1本のケーブルで転送します。

5

Thunderbolt™ 4 ポート

Thunderbolt™ 4 ポートは、USB Type-C® 規格と互換性があり、Thunderbolt™ 4 対応デバイスに対して、最大40 Gbpsでデータを転送します。お使いのノートパソコンを DisplayPort、VGA、DVI または HDMI 外部ディスプレイに接続し、Intel® Thunderbolt™ テクノロジーによる高解像度ディスプレイ機能をお楽しみください。

注意: このポートの転送速度はモデルによって異なる場合があります。

---

6 **USB 3.2 Gen2 Type-C®/DisplayPort コンボポート**

このUSB 3.2 Gen2ポートは、最大10 Gbpsのデータ転送速度を提供し、USB 2.0に下位互換性があります。映像出力ポートを持つUSB Type-C®アダプターを使用して、外付けディスプレイに本機を接続することができます。

> **注意:** このポートの転送速度はモデルによって異なる場合があります。

7 **USB 3.2 Gen1 ポート**

このUSB 3.2 Gen1ポートは、最大5 Gbpsのデータ転送速度を提供し、USB 2.0に下位互換性があります。

8 **ヘッドホン/ヘッドセットジャック**

オーディオ出力信号をスピーカーやヘッドホンに接続します。また、ヘッドセットを接続することもできます。

Chapter 2:
本機を使用する

使用の手引き

本機の充電

A.　電源コードをACアダプターに接続します。

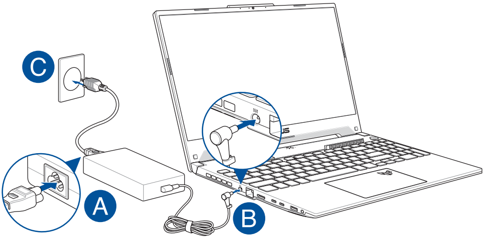
B.　電源コネクターを本機の電源入力ポートに接続します。

C.　ACアダプターを100V～240Vの電源に接続します。



初めてバッテリー電源で本機を使用する際は、3時間程度充電してください。

注意: モデルによってACアダプターの外観/仕様は異なる場合があります。



重要:

ACアダプターについて

- 入力電圧: 100-240V
- 入力周波数: 50-60Hz
- 定格出力電流: 7.5A (150W) / 10A (200W) / 12A (240W)
- 定格出力電圧: 20V

重要:

- 入出力定格は製品本体に記載があります。ACアダプターが対応していることをご確認ください。モデルによっては、定格出力電流が複数設定されている場合があります。
- 本機に初めて電源を入れる前に、電源アダプターに接続されていることを確認してください。延長コードを使用せずに、電源コードを壁コンセントに必ず差し込んでください。安全のため、このデバイスは適切に接地されたコンセントにのみ接続してください。
- 本機をACアダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
- 主電源から本機を切断するには、電源コンセントから本機の電源コードを抜いてください。
- 本製品付属のACアダプターおよび/または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターおよび/または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障・事故の原因となります。※お使いのモデルにより付属は異なる場合があります。

警告:

本機のバッテリーに関する警告事項をよくお読みください。

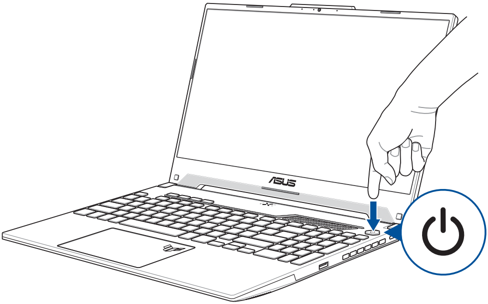
- 本機内蔵のバッテリーの取り外しはASUS公認の技術員のみ対応することができます (非着脱式バッテリーのみ) 。
- 本機内蔵のバッテリーをお客様ご自身で取り外した、または分解した場合、火事または化学火傷の危険性があります。
- 取り扱いの際は警告ラベルの指示に従ってください。
- ASUS指定以外もしくは本機付属以外のバッテリーに交換した場合、破裂、発火、発熱の恐れがあります。
- バッテリーを火中へ投下する、火気へ近づける、加熱する、高温状態で放置するなどしないでください。
- バッテリーの回路をショートさせないでください。
- バッテリーを分解または改造しないでください (非着脱式バッテリーのみ) 。
- 変形、変色、割れ、サビ、液漏れや異臭、異音などを起こしたバッテリーは直ちにその使用を中止してください。
- バッテリーは地域の条例等の指示に従ってリサイクル・処理してください。
- バッテリーおよびその他の部品は、子供の手に届かない場所に保管してください。

ディスプレイパネルを持ち上げる



注意: 放熱性を高めるため、ディスプレイパネルを60度以上開いた状態での使用をお勧めします。

電源ボタンを押す



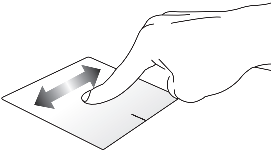
タッチパッドの操作

注意: ご使用のアプリによっては、以下で紹介する操作に対応していない場合があります。

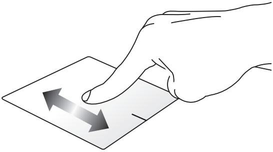
ポインターの移動

タッチパッドの任意の場所をタップするとポインターが表示され、タッチパッド上で指をスライドさせると画面上のポインターが移動します。

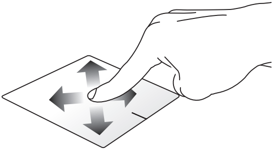
水平方向へのスライド



垂直方向へのスライド

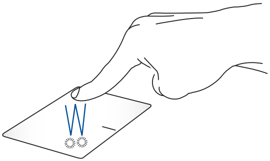


斜め方向へのスライド



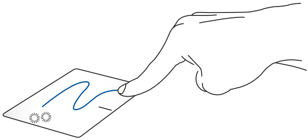
1本の指で操作

タップ／ダブルタップ



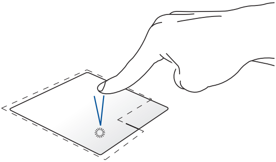
- スタート画面などに配置されているアプリなどをタップし起動します。また、デスクトップ上に配置されているアプリなどをタップして選択します。
- デスクトップ上に配置されているアプリなどをダブルタップし起動します。

ドラッグ&ドロップ



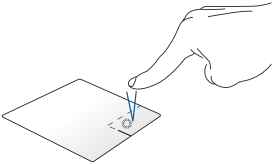
項目をダブルタップした後、タッチパッドからその指を離さずにスライドさせます。項目を新しい場所にドロップするには、タッチパッドから指を離します。

左クリック



- スタート画面などに配置されているアプリなどをクリックすると起動します。また、デスクトップ上に配置されているアプリなどをクリックして選択します。
- デスクトップ上に配置されているアプリなどをダブルクリックすると起動します。

右クリック

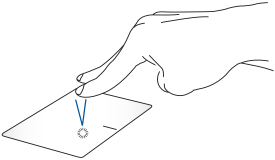


このボタンをクリックすると、右クリックメニューが表示されます。

注意：点線で囲まれた範囲は、タッチパッド上におけるマウスの左ボタンと右ボタンの位置を表しています。

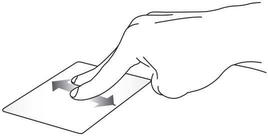
2本の指で操作

タップ



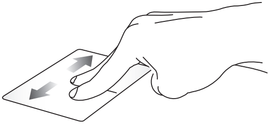
タッチパッドを2本の指でタップすると、マウスの右クリックと同じ操作を行うことができます。

2本指スクロール（上/下）



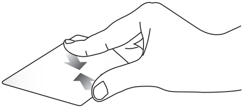
2本の指をスライドさせて、上下にスクロールします。

2本指スクロール（左/右）



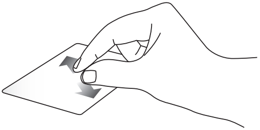
2本の指をスライドさせて、左右にスクロールします。

ズームアウト



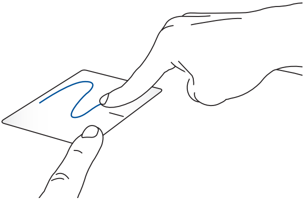
2本の指先の間隔を狭めることでズームアウトが可能です。

ズームイン



2本の指先の間隔を広げることでズームインが可能です。

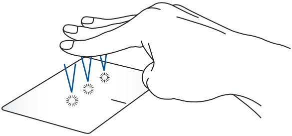
ドラッグ&ドロップ



項目を選択して、左ボタンを長押しします。もう一方の指で、タッチパッド上をスライドさせて項目をドラッグし、ボタンから指を離すと項目がドロップされます。

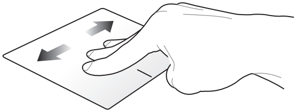
3本の指で操作

タップ



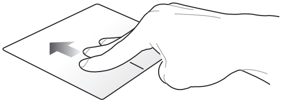
タッチパッド上で3本指でタップすると、Windowsで設定されている機能が起動します。

左スワイプ/右スワイプ



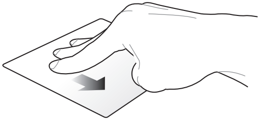
複数のアプリを開いている場合は、3本指を左右にスワイプすると、これらのアプリが切り替わります。

スワイプアップ



上にスワイプすると、現在開いているすべてのアプリの概要が表示されます。

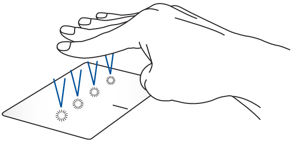
スワイプダウン



下にスワイプすると、デスクトップが表示されます。

4本の指で操作

タップ



タッチパッド上で4本指でタップすると、Windowsで設定されている機能が起動します。

キーボードの使い方

ホットキー

本機のキーボードのホットキーによって、以下のコマンドを起動することができます。

fn + f1	スピーカーのオン/オフを切り替える
fn + f2	キーボードの明るさを下げる
fn + f3	キーボードの明るさを上げる
fn + f4 AURA	AURA 照明効果の機能を切り替える
fn + f5	ファンのモードを切り替える
fn + f6	画面領域の切り取り機能を起動
fn + f7	ディスプレイの明るさを下げる
fn + f8	ディスプレイの明るさを上げる
fn + f9	表示モードを切り替える

注意: 外付けディスプレイが本機に接続されていることを確認してください。

fn + f10	タッチパッドの有効化または無効化
fn + f11	本機をスリープ状態にする
fn + f12	機内モードのオン/オフを切り替える

注意: 機内モード有効時は、すべてのワイヤレス接続が無効になります。

fn + ctrl	ドロップダウンメニューを表示する
fn + PgUp	Page Upキー機能を利用する
fn + PgDn	Page downキー機能を利用する
fn + Home	ホームキー機能を利用する
fn + End	エンドキー機能を利用する
fn + Windows	Windows キーロックの有効/無効を切り替える

 スピーカーのボリュームを下げる

 スピーカーのボリュームを上げる

 マイクのオン/オフを切り替える

 ARMOURY CRATEアプリを起動

Windowsキー

本機のキーボードには、以下の2つのWindows専用キーが設けられています。

 スタートメニューを起動

 ドロップダウンメニューを表示する*

* 特定モデルのみ

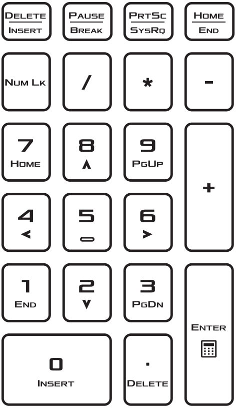
* モデルにより、Fnキーと同時に押す必要があります。

テンキーを使用する

注意: テンキーのレイアウトはモデルや地域によって異なる場合がありますが、使用上の手順は同じです。

モデルによってはテンキーが搭載されています。テンキーは数字の入力と方向キーでの操作が可能です。

Num Lk でテンキーを数字キーとして使用するか、方向キーとして使用するかを切り替えます。



Chapter 3: Windowsの使用

初めて起動するとき

初めて本機を起動すると、Windows OSの設定を行うために一連の案内画面が表示されます。

本機のはじめての使用開始:

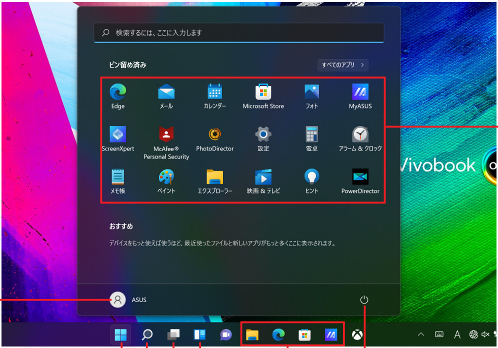
1. 本機の電源ボタンを押します。セットアップ画面が表示されるまで、数分間お待ちください。
2. セットアップ画面で、お住まいの地域と、本機で使用する言語を選択してください。
3. 使用許諾契約書をよくお読みください。**承諾**を選択します。
4. 画面の指示に従って、以下などの表示される基本項目を設定します。
    - ネットワーク接続
    - 設定
    - お客様のアカウント
5. 基本項目を設定した後、Windowsによってアプリ設定が反映されます。セットアップ中は、本機の電源が入っていることを確認してください。
6. セットアップが完了すると、デスクトップが表示されます。

注意:

- 本マニュアルに記載の図や画面は参考用です。
- ご使用の国や地域、環境、モデルなどにより、手順に差異がある場合があります。その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

スタートメニュー

スタートメニューは、本機のプログラム、Windowsアプリ、フォルダ、設定へアクセスするためのメイン画面です。



スタートメニューを使って行うことができる一般的な操作は以下のとおりです。

- プログラムやWindowsアプリの起動
- よく使うプログラムやWindowsアプリを開く
- 本機の設定変更
- Windows OSに関するヘルプの表示
- 本機の電源を切る
- Windowsからのログオフ、または別のユーザーアカウントへの切り替え

スタートメニューの起動

デスクトップのスタートアイコン にマウスポインターを合わせてクリックします。

キーボードのWindowsロゴキー を押します。

スタートメニューからプログラムを開く

スタートメニューは一般的に、本機にインストールされたプログラムを開くためによく使用します。

プログラムの上にマウスポインターを置いてクリックすると、プログラムが起動します。

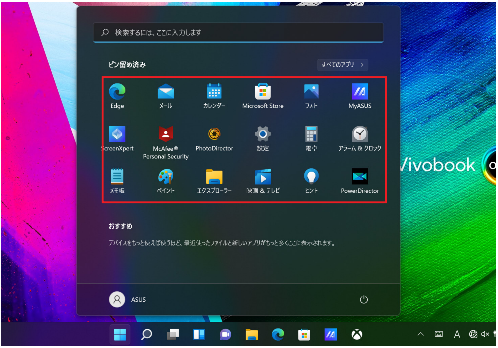
プログラムを参照するには、矢印キーやTabキーを使用します。 enter を押して起動します。

注意：すべてのアプリを選択すると、本機上のすべてのプログラムなどの一覧がアルファベット順に表示されます。

Windowsアプリ

これらのアプリはスタートメニューにピン留めされ、アクセスしやすいようにタイル形式で表示されています。

注意: 特定のWindows アプリはその機能を十分活用するため、Microsoftアカウントでのサインインが必要になる場合があります。



Windowsアプリの使用

スタートメニューからWindowsアプリを起動

アプリの上にマウスポインターを置いてクリックすると、アプリが起動します。

アプリを参照するには、矢印キーやTabキーを使用します。 enter を押して、アプリを起動します。

Windowsアプリのカスタマイズ

以下の手順で、スタートメニューからタスクバーにアプリを移動したり、ピン留めの解除やピン留めを行うことができます。

アプリの移動

アプリの上にマウスポインターを合わせ、アプリを新しい場所にドラッグ&ドロップします。

アプリのピン留め解除

アプリの上にマウスポインターを動かして右クリックし、**スタートからピン留めを外す**をクリックします。

方向キーを使用してアプリに移動します。 ≣ または fn + ctrl （特定モデルのみ）を押し、**スタートからピン留めを外す**を選択します。

タスクバーへのアプリのピン留め

アプリの上にマウスポインターを動かして右クリックし、**タスクバーにピン留めする**をクリックします。

方向キーを使用してアプリに移動します。 ≣ または fn + ctrl （特定モデルのみ）を押し、**タスクバーにピン留めする**を選択します。

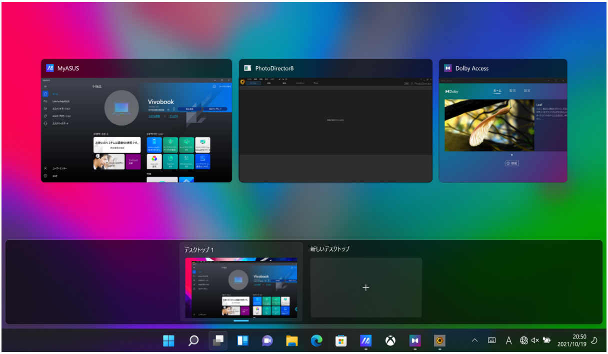
スタートメニューへのアプリのピン留め

すべてのアプリから、スタートメニューに追加したいアプリの上にマウスポインターを動かして右クリックし、 **スタートにピン留めする**をクリックします。

すべてのアプリから、スタートメニューに追加したいアプリの上で ≣ または fn + ctrl （特定モデルのみ）を押し、 **スタートにピン留めする**を選択します。

タスクビュー

タスクビュー機能を使うと、開いているアプリやプログラムを素早く切り替えることができます。タスクビューを使ってデスクトップを切り替えることもできます。



タスクビューの起動

タスクバーの アイコンにマウスポインターを合わせてクリックします。

キーボードの ⊞ + tab を押します。

ウィジェット

ウィジェットを起動すると、重要な情報に素早くアクセスすることができます。



ウィジェットの起動

タスクバーの アイコンにマウスポインターを合わせてクリックします。

キーボードの [Windows] + [W] を押します。

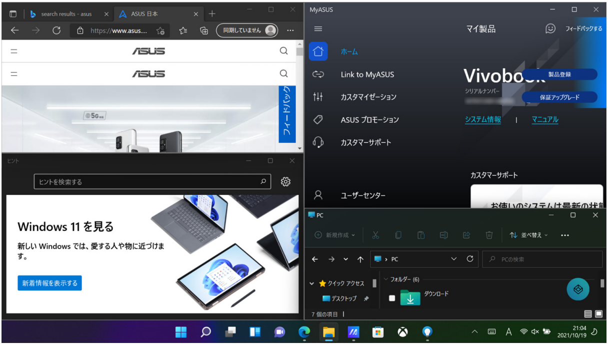


ウィジェットのカスタマイズ

右上に表示されている設定をクリック/タップし、ウィジェットに表示されるコンテンツを変更することができます。

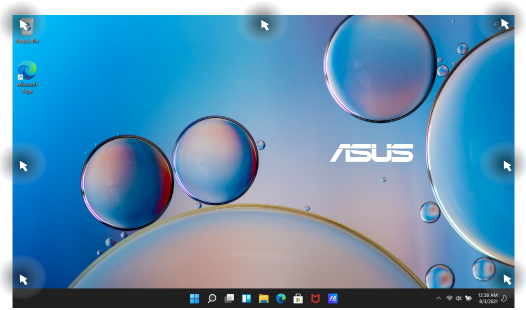
スナップ機能

スナップ機能ではアプリが横に並べて表示され、作業やアプリ間を切り替えることができます。



スナップホットスポット

アプリをホットスポットにドラッグ&ドロップすることで、アプリをスナップ表示することができます。



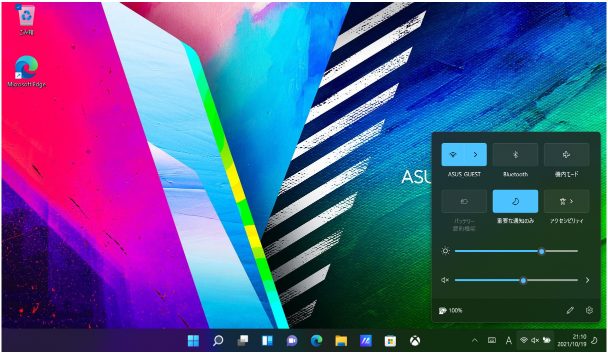
スナップの使い方

1. スナップしたいアプリを起動します。
2. アプリのタイトルバーをドラッグし、画面の端にアプリをドロップすると、スナップが完了します。
3. 別のアプリを起動し、上記の手順を繰り返してそのアプリをスナップさせます。

1. スナップしたいアプリを起動します。
2. ⊞ キーを長押しし、方向キーでアプリをスナップします。
3. 別のアプリを起動し、上記の手順を繰り返してそのアプリをスナップさせます。

アクションセンター

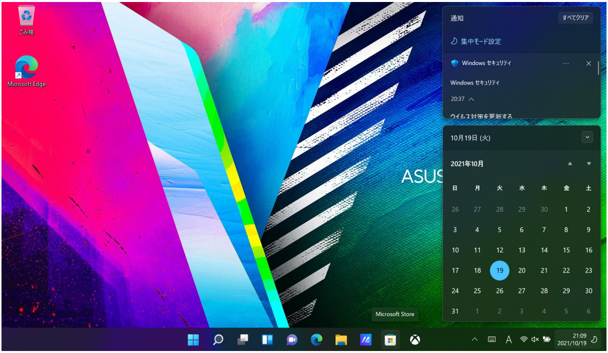
アクションセンターでは、アプリからの通知が一括表示されます。また、下部には大変便利なクイックアクションセクションがあります。



クイックアクションの起動

タスクバーのステータスアイコンにマウスポインターを合わせてクリックします。

キーボードの ⊞ + A を押します。



通知機能の起動

タスクバーの日付と時刻の上にマウスポインターを合わせてクリックします。

キーボードの ⊞ + N を押します。

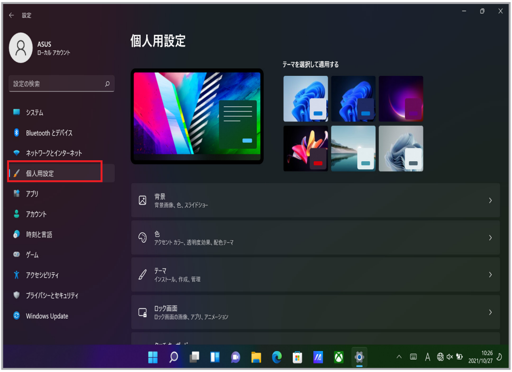
有機ELディスプレイの設定 (特定モデルのみ)

有機ELディスプレイを最大限に活用するために、推奨されるいくつかの設定があります(モデルにより異なる場合があります)。これらの設定により、視覚体験を最適化し、バッテリー駆動時間を長持ちさせ、ASUS製ノートPCをより長くお使い頂く事ができます。

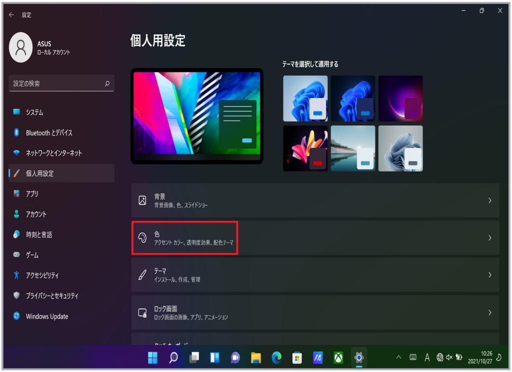
ダークモードの設定

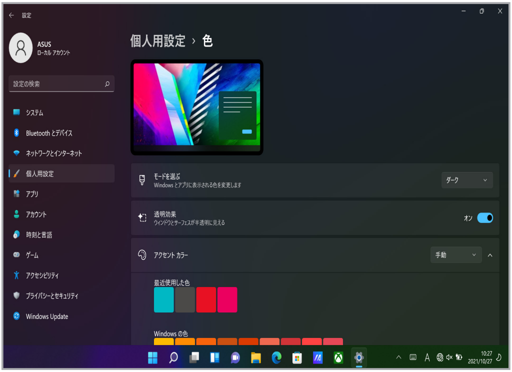
ダークモードは通常、初期設定で有効になっています。設定を確認または調整するには：

1. スタートメニューを起動します。
2. **設定**をクリックし、 **個人用設定**を選択します。



3.　**色**を選択いただき、**モードを選ぶ**から設定を確認または調整いただけます。※モデルやバージョンにより表示や設定方法が異なる場合があります。

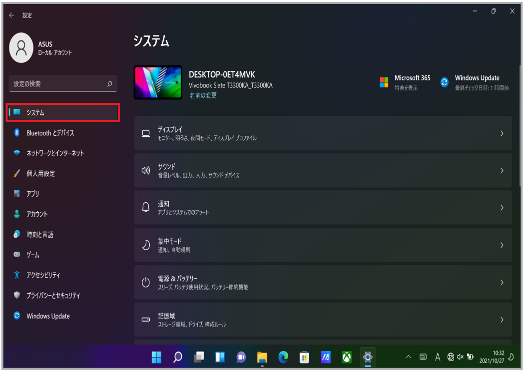




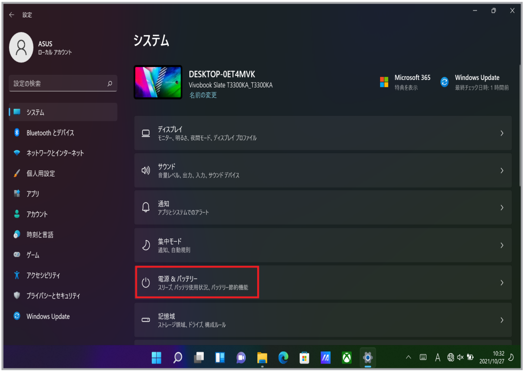
使用していない状態が続く場合にディスプレイをオフにする

使用していない状態が続く場合に自動的にオフになるようにディスプレイを設定します。設定を確認または変更するには：

1. スタートメニューを起動します。
2. **設定**をクリックし、**システム**を選択します。



3. **電源&バッテリー**を選択いただき、表示される設定から確認または調整いただけます。
※モデルやバージョンにより表示や設定方法が異なる場合があります。

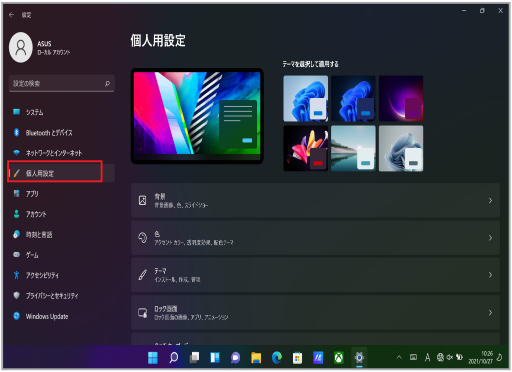




ディスプレイの明るさやスクリーンセーバーの設定

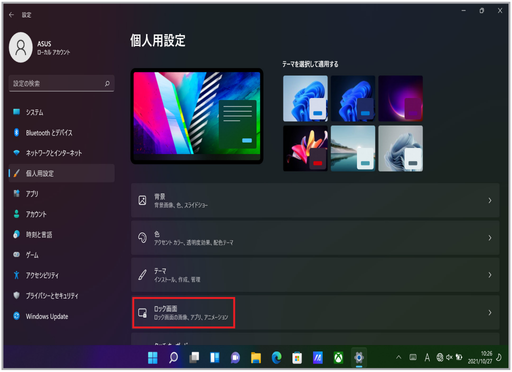
有機ELディスプレイを長くお使い頂くためにも、動きのある暗い背景画像のスクリーンセーバーや、画面の輝度を最大にせず、できる限り低く設定してお使い頂く事をお勧めします。設定を確認または変更するには：

1. スタートメニューを起動します。
2. **設定**をクリックし、 **個人用設定**を選択します。



3. **ロック画面**を選択し、**スクリーンセーバー**を選択いただき、表示される設定から確認または調整いただけます。※モデルやバージョンにより表示や設定方法が異なる場合があります。

※画面の明るさはホットキーやアクションセンターから設定可能な場合があります。

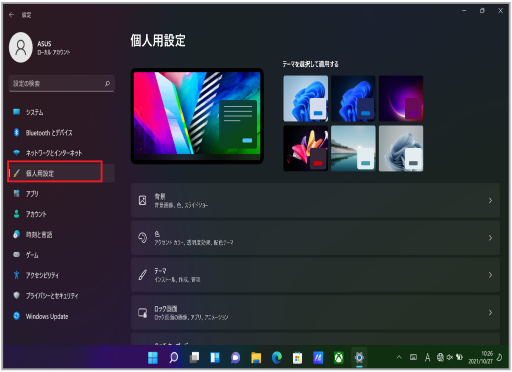




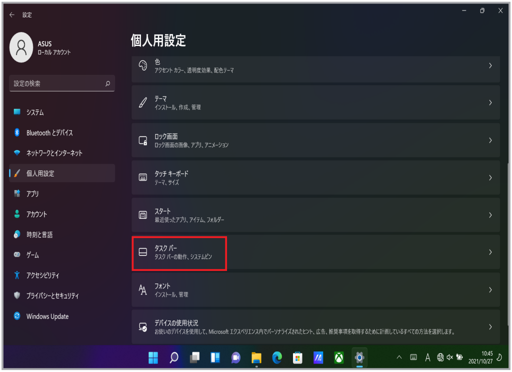
タスクバーを自動的に隠す

有機ELディスプレイにタスクバーが長時間表示されないようにするために、タスクバーを自動的に隠す設定を実施頂く事をお勧めします。設定を変更するには：

1. スタートメニューを起動します。
2. **設定**をクリックし、 **個人用設定**を選択します。



3. **タスクバー**を選択し、**タスクバーを自動的に隠す**から確認または調整いただけます。
※モデルやバージョンにより表示や設定方法が異なる場合があります。





Microsoft Officeのダークモード設定

1. Microsoft Officeアプリを起動し、 **ファイル** → **アカウント**をクリックします。
2. **Officeテーマ**で**濃い灰色**を選択します。テーマはすべてのMicrosoftアプリに適用されます。

   ※モデルやバージョンにより表示や設定方法が異なる場合があります。

   ※Microsoft Officeアプリは特定モデルのみ搭載されています。

その他のキーボードショートカット

キーボードからアプリの起動やWindowsの操作を行う際には、以下のショートカットを利用することもできます。

	**スタートメニュー**を起動
 + A	**アクションセンター**を起動
 + D	デスクトップを起動
 + E	**ファイルエクスプローラー**を起動
 + I	**設定**を起動
 + K	**キャスト機能**を起動
 + L	ロック画面を有効にする
 + M	すべてのウィンドウを最小化

⊞ + *S*	**検索**機能を起動
⊞ + *P*	**映す機能**を起動
⊞ + *R*	**実行**ウィンドウを起動
⊞ + *U*	**アクセシビリティ**を起動
⊞ + *X*	スタートボタンのコンテキストメニューを起動

ワイヤレスネットワークへの接続

Wi-Fi

本機のWi-Fi接続を利用して、メールやインターネットの閲覧、SNSを介したやり取りなどが可能になります。

> **重要: 機内モード**では、この機能が無効になります。**機内モード**がオフになっていることを確認してから、本機のWi-Fi接続を有効にしてください。

Wi-Fi接続

以下の手順で、本機をWi-Fiネットワークに接続します。

1. タスクバーから**アクションセンター**を起動します。
2. **Wi-Fi**アイコンをクリック/タップして、Wi-Fiを有効にします。
3. 利用可能なWi-Fi接続の一覧から、アクセスポイントを選択します。
4. **接続**を選択すると、ネットワーク接続が開始されます。

> **注意:**
>
> - Wi-Fi 接続を開始するときに、セキュリティキーの入力が求められる場合があります。
> - 特定モデルでは、5.2/5.3GHz帯をサポートする無線LANモジュールを搭載しておりますが、電波法により5.2/5.3GHz帯は屋内使用に限ります(5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局又は陸上移動中継局と通信する場合を除く)。

Bluetooth

Bluetoothにより、他のBluetooth対応機器とのワイヤレスデータ通信が可能になります。

重要: 機内モードでは、この機能が無効になります。**機内モード**がオフになっていることを確認してから、本機のBluetooth接続を有効にしてください。

他のBluetooth対応機器とのペアリング

データ転送を行うためには、本機と他のBluetooth対応機器をペアリングする必要があります。以下の手順で、デバイスを接続します。

1. スタートメニューから**設定**を起動します。
2. **Bluetoothとデバイス** → **デバイスの追加**を選択し、Bluetooth対応機器を検索します。
3. 一覧からデバイスを選択し、画面の指示に従いペアリングを行います。

注意：一部のBluetooth対応機器では、本機のパスコードを入力するよう求められる場合があります。

機内モード

機内モードでは無線通信が無効となり、機内でも安心して本機を使用することができるようになります。

注意： 本機を機内で使用する際には、使用可能な関連機内サービスや遵守すべき制限事項を航空会社にお問い合わせください。

機内モードのオン/オフ



1. タスクバーから**アクションセンター**を起動します。
2. **機内モード**のアイコンをクリック/タップして、機内モードを有効または無効にします。

有線ネットワークへの接続

本機のLANポートを使用して、ローカルエリアネットワークやブロードバンドインターネット接続などの有線ネットワークに接続することもできます。

注意：インターネット接続の設定については、インターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせいただくか、ネットワーク管理者にご相談ください。

設定を行うには、以下の手順を参照してください。

重要：以下の操作を行う前には、本機のLANポートがネットワークケーブルによってローカルエリアネットワークに接続されていることを確認してください。

動的IP/PPPoEネットワーク接続の設定

1. **設定**を開始します。
2. **ネットワークとインターネット**を選択します。
3. **ダイヤルアップ → ネットワークと共有センター**を選択します。
4. LANを選択し、**プロパティ**を選択します。
5. **インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)** を選択し、**プロパティ**を選択します。
6. **IPアドレスを自動的に取得する**を選択し、**OK**を選択します。

注意：PPPoE接続の場合は次のステップに進みます。

7. **ネットワークと共有センター**に戻り、**新しい接続またはネットワークのセットアップ**を選択します。
8. **インターネットに接続する**を選択し、**次へ**を選択します。
9. **ブロードバンド (PPPoE)** を選択します。
10. ユーザー名、パスワード、接続名を入力し、**接続**を選択します。
11. **閉じる**を選択して設定を終了します。
12. タスクバーのステータスアイコンをクリック/タップし、作成したばかりの接続を選択します。
13. ユーザー名とパスワードを入力し、**接続**を選択すると、インターネットへの接続が開始されます。

静的IPネットワーク接続の設定

1. 動的IP/PPPoEネットワーク接続の設定の手順1～5を繰り返します。
2. **次のIPアドレスを使う**を選択します。
3. サービスプロバイダーのIPアドレス、サブネットマスク、規定のゲートウェイを入力してください。
4. 必要に応じて、優先するDNSサーバーアドレスと代替DNSサーバーアドレスを入力し、**OK**を選択します。

本機の電源を切る

以下のいずれかの手順で、本機の電源を切ることができます。

- スタートメニューを起動し、⏻ → **シャットダウン**を選択すると、通常のシャットダウンが行われます。
- ログイン画面から、⏻ → **シャットダウン**を選択します。

- alt + f4 AURA を押すと、Windowsのシャットダウンが行われます。ドロップダウンリストから**シャットダウン**を選択し、**OK**を選択します。
- 本機が反応しない場合は、本機の電源が切れるまで、電源ボタンを4秒(モデルによっては10秒)以上長押ししてください。

本機をスリープ状態にする

本機をスリープモードにする:

- スタートメニューを起動し、⏻ → **スリープ**を選択すると、本機がスリープ状態になります。
- ログイン画面から、⏻ → **スリープ**を選択します。

alt + f4 AURA を押すと、Windowsのシャットダウンが行われます。ドロップダウンリストから**スリープ**を選択し、**OK**を選択します。

注意: 設定によっては電源ボタンを1度押してもスリープに移行することができます。

Chapter 4:
Power-On Self-Test (POST)

Power-On Self-Test (POST)

POST (Power-On Self-Test) とは、本機の電源を入れたときや再起動したときに実行される、ソフトウェアが制御する一連の診断テストをさします。POSTを制御するソフトウェアは、本機のアーキテクチャの一部として永続的にインストールされています。

POSTを使用したBIOSへのアクセスとトラブルシューティング

POST中は、本機のファンクションキーを使ってBIOSの設定にアクセスしたり、トラブルシューティングのオプションを実行することができます。詳細は以下の情報を参照してください。

BIOS

BIOS (Basic Input and Output System) には、本機のシステム起動時に必要なシステムハードウェアの設定が保存されています。

BIOSのデフォルト設定は通常の使用環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。以下の状況以外では、デフォルト設定のままで使用することをお勧めします。

- システム起動時に画面にエラーメッセージが表示され、BIOSセットアップの実行を求められた場合。
- BIOS設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合。

警告: 不適切な設定を行うと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出ることがあります。設定を変更する際は、専門知識を持った技術者のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

BIOSへのアクセス

本機を再起動し、POST中に 

を押します。

システムの回復

本機の回復オプションを使用すると、システムを元の状態に戻したり、設定を更新してパフォーマンスを向上させたりすることができます。

重要:

- 本機の回復オプションを実行する前に、すべてのデータファイルをバックアップしてください。
- ネットワーク設定、ユーザー名、パスワードなど、重要な設定をメモしておくと、データの消失を防ぐことができます。
- システムをリセットする前に、本機が電源に接続されていることを確認してください。

Windowsで可能な回復オプション:

- **個人用ファイルを保持する** - このオプションでは、個人用ファイル（写真、音楽、動画、ドキュメント）に影響を与えずに本機をリフレッシュすることができます。

  このオプションを使用すると、本機を初期設定に戻したり、インストールされている他のアプリを削除したりすることができます。

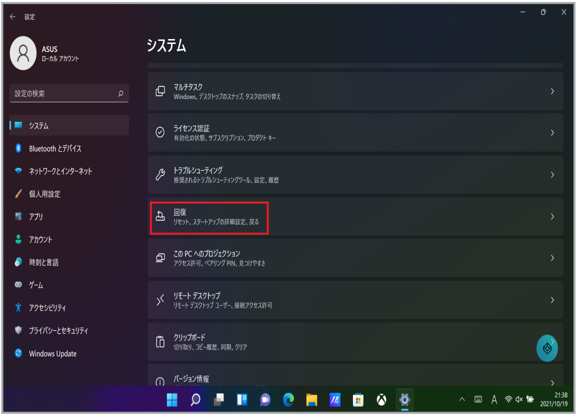
- **すべて削除する** - このオプションは、本機を出荷時の設定にリセットします。このオプションを実行する前には、必要なデータをバックアップしてください。

- **PC の起動をカスタマイズする** - このオプションを使用すると、本機で以下のような他の高度な回復オプションを実行することができます。
  - USBドライブ、ネットワーク接続などを利用して本機を起動。
  - **トラブルシューティング**を使用して、次のうちの任意の回復オプションを利用することができます: スタートアップ修復、更新プログラムのアンインストール、スタートアップ設定、UEFI ファームウェアの設定、コマンドプロンプト、システムの復元、イメージでシステムを回復。

回復オプションの実行

本機で利用可能な回復オプションに移動して使用する場合は、以下の手順を参照してください。

1. **Windowsの設定**を起動し、**システム** → **回復**を起動します。



2. 実行したい回復オプションを選択します。



Chapter 5: FAQとヒント

安全に使用するためのヒント

大切なデータを守り、安全に快適にご使用いただくためのヒントを記載しました。本製品の使用方法に関する記載と併せてお読みください。

- Windows Update:
  定期的にWindows Update を実行し、Windowsを最新の状態でご使用ください。
- MyASUSアプリ搭載モデルでは、MyASUSを最新の状態にしていただき、また、MyASUSを利用して、ASUS独自のアプリやドライバー、ユーティリティを最新の状態にしてください。
- アンチウイルスソフト:
  ウイルスからパソコンや大切なデータを守りるため、ウイルス対策のソフトを利用しましょう。
- 強制終了・停電:
  突然の電源断などによる機器の停止は問題を引き起こす可能性があります。使用中はバッテリーをできる限り装着し、機器の停止時も正しいシャットダウンをしましょう。
- バックアップ:
  本機が起動しないなど故障した際、大切なデータを取り出せなくなる可能性があります。定期的に外付けの記憶装置などへバックアップをお取りください。
- ノートPCを長期間使用しない場合は、バッテリーの充電はバッテリー容量の50%程度にし、端末の電源をオフにしてACアダプターとの接続もしないままにしてください。
- 常時、ACアダプター経由でノートPCへ給電している場合は、ASUS Battery Health Charging機能が搭載されている場合がありますので、そちらが搭載されている場合は、そちらを利用して、バッテリーのモードをバランスモードへ設定してください。

- 本機のリセット:
  リセットを行う際は周辺機器を周辺機器をすべて取り外し、次の項目がすべて揃っていることをご確認ください。
  - Officeアプリなどプロダクトキーが必要な場合は、そちらのプロダクトキー
  - バックアップデータ
  - ログインIDとパスワード
  - インターネット接続に必要な情報
    不明点がある場合は、ネットワーク管理者もしくはプロバイダーにお問い合わせください。
- トラブルシューティングを行う場合、FAQ (よくある質問) を参照する場合は、ASUS公式のサポートサイト (https://www.asus.com/jp/support) へアクセスしてください。

ハードウェアに関するFAQ

1. **液晶ディスプレイに黒い点や、常時点灯 (赤、青、緑) している点がある**

   製品の品質には万全を期していますが、液晶ディスプレイにはごくわずかですが不完全な表示 (ドット抜け) が発生する場合があります。これらは製品の品質を損なうものではありませんが、ASUSの提供する保証サービスが適用される場合がございます。詳しくは、製品に同梱の保証書もしくはASUSコールセンターまでご連絡ください。

2. **液晶ディスプレイの色や明るさにむらがある**

   液晶ディスプレイの構造上、見る角度や環境により、明るさや色にむらが見える場合があります。また、液晶ディスプレイの明るさや色合いはモデルによって異なる場合があります。
   Functionキーまたは OSのディスプレイ設定により画面の調整が可能です。

3. **バッテリー駆動時間を長くする方法**

   以下の方法を推奨します。

   - Functionキーで液晶ディスプレイの表示を暗くします。
   - Wi-Fi 機能を使用しないときは Functionキーで「**機内モード**」をオンにします。
   - マウスやUSB機器など、使わない周辺機器は取り外します。
   - 大きな負荷がかかるアプリの使用を避けます。

4. **バッテリー状態表示ランプが点灯しない**
    - ACアダプターまたは充電されたバッテリーパック(特定モデルのみ)が正しく取り付けられているか確認してください。
    - ACアダプターとバッテリーパック (取り外し可能なモデルのみ) を取り外し、1分以上待ってから再度入れて起動してください。
    - それでも点灯しない場合は、コールセンターへご連絡ください。
5. **タッチパッドが使用できない**
    - fn + f10 を押し、タッチパッドの有効/無効の切り替えをお試しください。
    - マウスが接続されている場合は、マウス接続時にタッチパッドが無効になる機能が有効になっていないか確認し、もし、有効になっている場合は、マウスを取り外すか、こちらの機能を無効にしてください。
6. **スピーカーから音が出ない**
    - 🔊 を押し、音量の調節などお試しください。
    - ご使用のアプリなどで、ミュート設定になっていないかご確認ください。
    - ヘッドホン出力用のジャックに何か接続されていないかご確認ください。接続されている場合は、そちらを取り外してください。
7. **消耗品の購入、ACアダプターをなくした際などの対応方法**
    コールセンターへご連絡、もしくはASUS Storeをご確認ください。
    ASUS Store; https://jp.store.asus.com/
    ※URLは予告無く変更する可能性があります。

8.　キー入力中にカーソルが移動し、正しくキー入力ができない

- お使いのモデルがタッチパッド搭載モデルの場合は、手のひらや洋服の袖などがタッチパッドに触れ、そのため、カーソル移動が発生している可能性があります。
- fn + f10 を押し、タッチパッドの機能を無効にし、キー入力をお試しください。

9.　スリープモードを無効にしましたが、ディスプレイを閉じるとスリープモードに移行します。(特定モデルのみ)

システムの負荷が高い場合、ディスプレイを閉じるとオーバーヒートを防ぐためにスリープモードに移行します。

ソフトウェアに関するFAQ

1. **電源インジケーターは点灯しているが、ドライブアクティビティインジケーターが点灯/点滅せず、本機が正常に起動しない**

   - 電源ボタンを4秒 (モデルによっては10秒) 以上押し、電源を切り、ACアダプターとバッテリーパック (特定モデルのみ) が正しく取り付けられているか確認のうえ、再度、電源を入れてください。
   - それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

2. **「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示される**

   - USBデバイスが接続されている場合は取り外してください。
   - 光学ドライブ搭載のモデルでは、CDなどが挿入されている場合はそちらを取り外します。
   - それでも起動しない場合は、記憶装置に何らかの問題が発生している可能性があります。コールセンターへご連絡ください。

3. **起動や動作が遅い**

   - お買い上げ後にインストールしたアプリなどがありましたら、そちらの常駐の解除をお試しください。
   - 「**設定**」→「**更新とセキュリティ**」内の回復オプションから「**このPCを初期状態に戻す**」→「**個人用ファイルを保持する**」をお試しください。

4.　本機が起動しない/OSが起動しない

- 接続しているUSBデバイスなどをすべて取り外して、電源を入れてください。
- 機器本体の温度が上昇している場合は、過熱を防止するための機能が自動的に働いてる可能性がありますので、しばらく待ってから再度、電源を入れてください。
- それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

5.　スリープ状態/ 休止状態から復帰しない

- 特定モデルでは、スリープ状態からの復帰には電源ボタンを押す必要があります。電源ボタンを押してください。
- バッテリー残量が少なくなっている、もしくは、完全に放電している可能性があります。ACアダプターを接続し電源ボタンを押してください。
- 一旦、電源ボタンを4秒 (モデルによっては10秒) 以上押し、機器を強制終了後、電源ボタンを押し、起動してください。なお、保存していないデータは失われます。

Chapter 6: 付録

DVD-ROM Drive Information

The DVD-ROM drive allows you to view and create your own CDs and DVDs. You can purchase an optional DVD viewer software to view DVD titles.

NOTE: The DVD-ROM Drive is available on selected models.

Regional Playback Information

Playback of DVD movie titles involves decoding MPEG2 video, digital AC3 audio and decryption of CSS protected content. CSS (sometimes called copy guard) is the name given to the content protection scheme adopted by the motion picture industry to satisfy a need to protect against unlawful content duplication.

Although the design rules imposed on CSS licensors are many, one rule that is most relevant is playback restrictions on regionalized content. In order to facilitate geographically staggered movie releases, DVD video titles are released for specific geographic regions as defined in "Region Definitions" below. Copyright laws require that all DVD movies be limited to a particular region (usually coded to the region at which it is sold). While DVD movie content may be released for multiple regions, CSS design rules require that any system capable of playing CSS encrypted content must only be capable of playing one region.

IMPORTANT! The region setting may be changed up to five times using the viewer software, then it can only play DVD movies for the last region setting. Changing the region code after that will require factory resetting which is not covered by warranty. If resetting is desired, shipping and resetting costs will be at the expense of the user.

Region Definitions

Region 1

Canada, US, US Territories

Region 2

Czech, Egypt, Finland, France, Germany, Gulf States, Hungary, Iceland, Iran, Iraq, Ireland, Italy, Japan, Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Saudi Arabia, Scotland, South Africa, Spain, Sweden, Switzerland, Syria, Turkey, UK, Greece, Former Yugoslav Republics, Slovakia

Region 3

Burma, Indonesia, South Korea, Malaysia, Philippines, Singapore, Taiwan, Thailand, Vietnam

Region 4

Australia, Caribbean (Except US Territories), Central America, New Zealand, Pacific Islands, South America

Region 5

CIS, India, Pakistan, Rest of Africa, Russia, North Korea

Region 6

China

Blu-ray ROM Drive Information

The Blu-ray ROM Drive allows you to view HD (High-Definition) videos and other disc file formats such as DVDs and CDs.

NOTE: The Blu-ray ROM Drive is available on selected models.

Region Definitions

Region A

North, Central and South American countries, and their territories; Taiwan, Hong Kong, Macao, Japan, Korea (South and North), South East Asian countries and their territories.

Region B

European, African, and South West Asian countries and their territories; Australia and New Zealand.

Region C

Central, South Asian, Eastern European countries and their territories; China and Mongolia.

NOTE: Refer to Blu-ray Disc website at www.blu-raydisc.com/en/Technical/FAQs/Blu-rayDiscforVideo.aspx for more details.

内蔵モデムの適応規格 (規格/プロトコルなど原文掲載)

The Notebook PC with internal modem model complies with JATE (Japan), FCC (US, Canada, Korea, Taiwan), and CTR21. The internal modem has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point. In the event of problems you should contact your equipment supplier in the first instance.

Overview

On 4th August 1998 the European Council Decision regarding the CTR 21 has been published in the Official Journal of the EC. The CTR 21 applies to all non voice terminal equipment with DTMF-dialling which is intended to be connected to the analogue PSTN (Public Switched Telephone Network).

CTR 21 (Common Technical Regulation) for the attachment requirements for connection to the analogue public switched telephone networks of terminal equipment (excluding terminal equipment supporting the voice telephony justified case service) in which network addressing, if provided, is by means of dual tone multi-frequency signalling.

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the Notified Body and the vendor: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties."

Statement to be made by the manufacturer to the user: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties. The manufacturer shall also associate a statement to make it clear where network compatibility is dependent on physical and software switch settings. It will also advise the user to contact the vendor if it is desired to use the equipment on another network."

Up to now the Notified Body of CETECOM issued several pan-European approvals using CTR 21. The results are Europe's first modems which do not require regulatory approvals in each individual European country.

Non-Voice Equipment

Answering machines and loud-speaking telephones can be eligible as well as modems, fax machines, auto-dialers and alarm systems. Equipment in which the end-to-end quality of speech is controlled by regulations (e.g. handset telephones and in some countries also cordless telephones) is excluded.

This table shows the countries currently under the CTR21 standard.

Country	Applied	More Testing
Austria[1]	Yes	No
Belgium	Yes	No
Czech Republic	No	Not Applicable
Denmark[1]	Yes	Yes
Finland	Yes	No
France	Yes	No
Germany	Yes	No
Greece	Yes	No
Hungary	No	Not Applicable
Iceland	Yes	No
Ireland	Yes	No
Italy	Still Pending	Still Pending
Israel	No	No
Lichtenstein	Yes	No
Luxemburg	Yes	No
The Netherlands[1]	Yes	Yes
Norway	Yes	No
Poland	No	Not Applicable
Portugal	No	Not Applicable
Spain	No	Not Applicable
Sweden	Yes	No
Switzerland	Yes	No
United Kingdom	Yes	No

This information was copied from CETECOM and is supplied without liability. For updates to this table, you may visit http://www.cetecom.de/technologies/ctr_21.html.

1 National requirements will apply only if the equipment may use pulse dialling (manufacturers may state in the user guide that the equipment is only intended to support DTMF signalling, which would make any additional testing superfluous).

In The Netherlands additional testing is required for series connection and caller ID facilities.

Federal Communications Commission Interference Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING! The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

(Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993. Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.)

FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement

WARNING! Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with FCC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

UL Safety Notices

Required for UL 1459 covering telecommunications (telephone) equipment intended to be electrically connected to a telecommunication network that has an operating voltage to ground that does not exceed 200V peak, 300V peak-to-peak, and 105V rms, and installed or used in accordance with the National Electrical Code (NFPA 70).

When using the Notebook PC modem, basic safety precautions should always be followed to reduce the risk of fire, electric shock, and injury to persons, including the following:

- DO NOT use the Notebook PC near water, for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink or laundry tub, in a wet basement or near a swimming pool.
- DO NOT use the Notebook PC during an electrical storm. There may be a remote risk of electric shock from lightning.
- DO NOT use the Notebook PC in the vicinity of a gas leak.

Required for UL 1642 covering primary (non-rechargeable) and secondary (rechargeable) lithium batteries for use as power sources in products. These batteries contain metallic lithium, or a lithium alloy, or a lithium ion, and may consist of a single electrochemical cell or two or more cells connected in series, parallel, or both, that convert chemical energy into electrical energy by an irreversible or reversible chemical reaction.

- DO NOT dispose the Notebook PC battery pack in a fire, as they may explode. Check with local codes for possible special disposal instructions to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion.
- DO NOT use power adapters or batteries from other devices to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion. Use only UL certified power adapters or batteries supplied by the manufacturer or authorized retailers.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, $0.75mm^2$ or H05VV-F, 2G, $0.75mm^2$.

TV Notices

Note to CATV System Installer—Cable distribution system should be grounded (earthed) in accordance with ANSI/NFPA 70, the National Electrical Code (NEC), in particular Section 820.93, Grounding of Outer Conductive Shield of a Coaxial Cable – installation should include bonding the screen of the coaxial cable to the earth at the building entrance.

Macrovision Corporation Product Notice

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S.A. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovision Corporation. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries)

CAUTION! Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. (English)

ATTENZIONE! Rischio di esplosione della batteria se sostituita in modo errato. Sostituire la batteria con un una di tipo uguale o equivalente consigliata dalla fabbrica. Non disperdere le batterie nell'ambiente. (Italian)

VORSICHT! Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers. (German)

ADVARSELI! Lithiumbatteri - Eksplosionsfare ved fejlagtig håndtering. Udskiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type. Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren. (Danish)

VARNING! Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparattillverkaren. Kassera använt batteri enligt fabrikantens instruktion. (Swedish)

VAROITUS! Paristo voi räjähtää, jos se on virheellisesti asennettu. Vaihda paristo ainoastaan laitevalmistajan sousittelemaan tyyppiin. Hävitä käytetty paristo valmistagan ohjeiden mukaisesti. (Finnish)

ATTENTION! Danger d'explosion si la batterie n'est pas correctement remplacée. Remplacer uniquement avec une batterie de type semblable ou équivalent, recommandée par le fabricant. Jeter les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant. (French)

ADVARSEL! Eksplosjonsfare ved feilaktig skifte av batteri. Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefalt av apparatfabrikanten. Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner. (Norwegian)

標準品以外の使用は、危険の元になります。交換品を使用する場合、製造者に指定されるものを使って下さい。製造者の指示に従って処理して下さい。

(Japanese)

ВНИМАНИЕ! При замене аккумулятора на аккумулятор иного типа возможно его возгорание. Утилизируйте аккумулятор в соответствии с инструкциями производителя. (Russian)

CTR 21 Approval (for Notebook PC with built-in Modem)

Danish

»Udstyret er i henhold til Rådets beslutning 98/482/EF EU-godkendt til at blive opkoblet på de offentlige telefonnet som enkeltforbundet terminal. På grund af forskelle mellem de offentlige telefonnet i de forskellige lande giver godkendelsen dog ikke i sig selv ubetinget garanti for, at udstyret kan fungere korrekt på samtlige nettermineringspunkter på de offentlige telefonnet.

I tilfælde af problemer bør De i første omgang henvende Dem til leverandøren af udstyret.«

Dutch

„Dit apparaat is goedgekeurd volgens Beschikking 98/482/EG van de Raad voor de pan-Europese aansluiting van enkelvoudige eindapparatuur op het openbare geschakelde telefoonnetwerk (PSTN). Gezien de verschillen tussen de individuele PSTN's in de verschillende landen, biedt deze goedkeuring op zichzelf geen onvoorwaardelijke garantie voor een succesvolle werking op elk PSTN-netwerkaansluitpunt.

Neem bij problemen in eerste instantie contact op met de leverancier van het apparaat.".

English

'The equipment has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.'

Finnish

"Tämä laite on hyväksytty neuvoston päätöksen 98/482/EY mukaisesti liitettäväksi yksittäisenä laitteena yleiseen kytkentäiseen puhelinverkkoon (PSTN) EU:n jäsenvaltioissa. Eri maiden yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen välillä on kuitenkin eroja, joten hyväksyntä ei sellaisenaan takaa häiriötöntä toimintaa kaikkien yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen liityntäpisteissä.

Ongelmien ilmetessä ottakaa viipymättä yhteyttä laitteen toimittajaan."

French

«Cet équipement a reçu l'agrément, conformément à la décision 98/482/CE du Conseil, concernant la connexion paneuropéenne de terminal unique aux réseaux téléphoniques publics commutés (RTPC). Toutefois, comme il existe des différences d'un pays à l'autre entre les RTPC, l'agrément en soi ne constitue pas une garantie absolue de fonctionnement optimal à chaque point de terminaison du réseau RTPC.

En cas de problème, vous devez contacter en premier lieu votre fournisseur.»

German

„Dieses Gerät wurde gemäß der Entscheidung 98/482/EG des Rates europaweit zur Anschaltung als einzelne Endeinrichtung an das öffentliche Fernsprechnetz zugelassen. Aufgrund der zwischen den öffentlichen Fernsprechnetzen verschiedener Staaten bestehenden Unterschiede stellt diese Zulassung an sich jedoch keine unbedingte Gewähr für einen erfolgreichen Betrieb des Geräts an jedem Netzabschlußpunkt dar.

Falls beim Betrieb Probleme auftreten, sollten Sie sich zunächst an ihren Fachhändler wenden."

Greek

«Ο εξοπλισμός έχει εγκριθεί για πανευρωπαϊκή σύνδεση μεμονωμέου τερματικού με το δημόσιο τηλεφωνικό δίκτυο μεταγωγής (PSTN), σύμφωνα με την απόφαση 98/482/ΕΚ του Συμβουλίου· ωστόσο, επειδή υπάρχουν διαφορές μεταξύ των επιμέρους PSTN που παρέχονται σε διάφορες χώρες, η έγκριση δεν παρέχει αφ' εαυτής ανεπιφύλακτη εξασφάλιση επιτυχούς λειτουργίας σε κάθε σημείο απόληξης του δικτύου PSTN.

Εάν ανακύψουν προβλήματα, θα πρέπει κατ' αρχάς να απευθύνεστε στον προμηθευτή του εξοπλισμού σας.»

Italian

«La presente apparecchiatura terminale è stata approvata in conformità della decisione 98/482/CE del Consiglio per la connessione paneuropea come terminale singolo ad una rete analogica PSTN. A causa delle differenze tra le reti dei differenti paesi, l'approvazione non garantisce però di per sé il funzionamento corretto in tutti i punti di terminazione di rete PSTN.

In caso di problemi contattare in primo luogo il fornitore del prodotto.»

Portuguese

«Este equipamento foi aprovado para ligação pan-europeia de um único terminal à rede telefónica pública comutada (RTPC) nos termos da Decisão 98/482/CE. No entanto, devido às diferenças existentes entre as RTPC dos diversos países, a aprovação não garante incondicionalmente, por si só, um funcionamento correcto em todos os pontos terminais da rede da RTPC.

Em caso de problemas, deve entrar-se em contacto, em primeiro lugar, com o fornecedor do equipamento.»

Spanish

«Este equipo ha sido homologado de conformidad con la Decisión 98/482/CE del Consejo para la conexión paneuropea de un terminal simple a la red telefónica pública conmutada (RTPC). No obstante, a la vista de las diferencias que existen entre las RTPC que se ofrecen en diferentes países, la homologación no constituye por sí sola una garantía incondicional de funcionamiento satisfactorio en todos los puntos de terminación de la red de una RTPC.

En caso de surgir algún problema, procede ponerse en contacto en primer lugar con el proveedor del equipo.».

Declaration of Compliance for Product Environmental Regulation

ASUS follows the green design concept to design and manufacture our products, and makes sure that each stage of the product life cycle of ASUS product is in line with global environmental regulations. In addition, ASUS disclose the relevant information based on regulation requirements.

Please refer to http://csr.asus.com/Compliance.htm for information disclosure based on regulation requirements ASUS is complied with.

EU REACH and Article 33

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at
http://csr.asus.com/english/REACH.htm.

EU RoHS

This product complies with the EU RoHS Directive. For more details, see
http://csr.asus.com/english/article.aspx?id=35.

Japan JIS-C-0950 Material Declarations

Information on Japan RoHS (JIS-C-0950) chemical disclosures is available on
http://csr.asus.com/english/article.aspx?id=19.

Ecodesign Directive

European Union announced a framework for the setting of ecodesign requirements for energy-related products (2009/125/EC). Specific Implementing Measures are aimed at improving environmental performance of specific products or across multiple product types. ASUS provides product information on the CSR website. Further information could be found at https://csr.asus.com/english/article.aspx?id=1555.

EPEAT Registered Products

The public disclosure of key environmental information for ASUS EPEAT (Electronic Product Environmental Assessment Tool) registered products is available at https://csr.asus.com/english/article.aspx?id=41. More information about EPEAT program and purchase guidance can be found at www.epeat.net.

Simplified EU Declaration of Conformity

ASUSTek Computer Inc. hereby declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU. Full text of EU declaration of conformity is available at https://www.asus.com/support/.

The WiFi operating in the band 5150-5350 MHz shall be restricted to indoor use for countries listed in the table below:

AT	BE	BG	CZ	DK	EE	FR
DE	IS	IE	IT	EL	ES	CY
LV	LI	LT	LU	HU	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SI	SK	TR
FI	SE	CH	HR	UK(NI)		

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について

資源有効利用促進法では、JIS C 0950: 2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法) 」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト (http://green.asus.com/english/) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法) 」をご参照ください。

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートPC等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

筐体のコーティングについて

感電などを防ぐため、本機は絶縁性のあるコーティング材を使用しています (入出力ポート搭載部分を除く)。

日本国内での無線周波数帯のご利用について

電波法により5.2/5.3GHz帯は屋内使用に限ります(5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局又は陸上移動中継局と通信する場合を除く)。

聴覚障害を防ぐため

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧は、難聴などの聴覚障害の原因となる場合があります。ボリュームコントロールやイコライザーを基準値以外に設定した場合、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し音圧が高くなることがあります。ご注意ください。



